

# 地域と企業の協働による生活機能確保モデル構築事業(事例)

## 【奥出雲町三沢地区】

みざわ小さな拠点づくりの会×NPO法人ともに・(株)エブリプラン

### 1. 地区の概要



### 「安心」と「チャレンジ」のみざわ

島根県奥出雲町の北西部に位置する三沢地区。地区内唯一の商店が閉店するといった課題に対して、買い物支援に取り組むなど、地域運営組織「みざわ小さな拠点づくりの会」を中心に2019年から活動をスタート。田舎の良さの一つである「人と人とのつながり」をまずは取り戻すため、地域が一体となって取組を進めています。

### 2. 地域課題解決に向けた取組(買い物支援)

#### step.1 課題

##### ①近隣商店の閉店

地域の人たちが利用していた旧JA店舗が2019年3月末に閉店。

#### step.2 体制

##### ②みざわ小さな拠点づくりの会の発足

住民を対象にアンケート調査を行い、その結果から見えたのは、「地区内の住民同士が交流する機会がほとんどない」ということでした。田舎の良さの一つである「人と人とのつながり」をまずは取り戻すため、2019年に「みざわ小さな拠点づくりの会」が発足。

#### step.3 実践

##### ③買い物支援の取組(買い物サロン開始)

週に1回、旧JAマーケット跡地を活用し、食料品や日用品を販売する買い物サロン等を開始。

#### step.4 発展

##### ④ともにマーケットのオープン(NPO法人ともに)

地域に近い存在であるNPO法人が買い物サロンを事業継承し、令和3年6月から「ともにマーケット」を開始。

#### step.5 新たな課題

##### ⑤地域と企業の協働による移動販売事業の実施を検討

「ともにマーケット」を開始したものの、移動手段の無い地域住民が利用できないことから、移動販売事業を視野に検討を開始。

# 地域と企業の協働による生活機能確保モデル構築事業(事例)

## 【奥出雲町三沢地区】

みざわ小さな拠点づくりの会×NPO法人ともに・(株)エブリプラン

### 3. 三沢地区の事業モデル:移動販売と高齢者の見守りを組み合わせた事例

奥出雲町三沢地区で、地域の暮らしを応援するために、食料品や日用品を販売する商店「ともにマーケット」を運営する「NPO法人ともに」が、同地区で、小さな拠点づくりに取り組む「みざわ小さな拠点づくりの会」と連携し、移動販売と高齢者の見守り活動を組み合わせた事業を構築し、企業の営業面を地域が支え、企業は地域の活動を支援する取組を実施している。両者にとってWin-Winの関係を築くことで、継続性のあるビジネスモデルの構築に取り組む。

### 4. 地域と企業の強みと弱み

強み	実施主体	弱み
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の意見を集約できる</li><li>・地域住民の顔がわかる</li></ul>	<b>地域</b> (みざわ小さな拠点づくりの会)	地域のみでは、ノウハウが無く、移動販売事業等の経営は難しい
<ul style="list-style-type: none"><li>・移動販売の拠点となる地元商店を運営している</li><li>・経営分析やシステム開発が可能</li></ul>	<b>企業</b> (NPO 法人ともに×(株)エブリプラン)	企業のみでは、地域の要望や実情を把握することにコストや時間がかかる

### 5. 各年度の取組内容

#### 令和3年度【1年目】の協働の取組

##### 【地域】

- ・移動販売への要望の聞き取り調査(品揃え等)
- ・移動販売の広報(誘客・利用促進等)

##### 【企業】

- ・移動販売の仕組みづくり(アプリ開発等)
- ・収支状況の把握・分析

#### 令和4年度【2年目】の協働の取組

##### 【地域】

- ・近隣地域への販売エリア拡大に向けた地元調整
- ・移動販売の広報(誘客・利用促進等)

##### 【企業】

- ・アプリで当日の販売品目や効率的な運行ルートを検討
- ・収支状況の把握・分析

### 6. 成果

- ・移動販売と高齢者の見守りを組み合わせて行うことにより、事業の地域への定着化や効率化が図られ、この取組を継続していくための仕組みづくりができた。
- ・三沢地区では、モデル地区期間の収支状況から、安定した運営が可能となる目標が設定できた。
- ・この取組を参考に移動販売のなかった他地区において、地元商店と連携した地域による移動販売の取組が開始された。

